

神奈川県看護協会 患者安全警報 14
< 医療安全全国共同行動の取り組みについて >

平成20年9月30日

あいにく医療事故によって、残念ながら国民の医療への信頼は揺らいでいます。医療事故を防ぐためには、施設や職種を超えた取り組みや情報の共有が重要となります。

医療の質・安全の向上をめざして取り組む「医療安全全国共同行動」通称“いのちをまもるパートナーズ”が今年5月に開始されました。

この事業は、医療の質・安全学会、日本病院団体協議会、日本医師会、日本歯科医師会等の団体と共に日本看護協会も呼びかけ団体になっています。神奈川県看護協会でもこの機会に「医療安全の取り組み」をより一層広めていくことを目指しています。

皆様の施設も“いのちをまもるパートナーズ”に参加してみましよう！！

「医療安全全国共同行動」「いのちをまもるパートナーズ」(日本版100Kキャンペーン)は、全国の病院と病院団体、各職能団体、諸学会が連携して医療安全対策の実現と普及をめざす2年間のキャンペーン事業です。

1. 共同行動の目的

平成20年5月から平成22年5月のキャンペーン期間に、全国の病院と各種医療団体が行動目標を共有、力を終結し、医療の質・安全の向上をめざす取り組みを広く全国の病院に普及し、目に見える成果を達成し、医療に対する患者・市民の信頼を高めることをめざします。

2. 共同行動の目標

多数の病院が共同行動に参加して次の8つの目標を実現することにより、医療に伴う有害事象を大幅に低減し、これに起因する可避死がなくなることを目指します。また、医療現場に安全の文化を浸透させ、医療の質・安全を確保し向上させる組織的な基盤と職種や立場を超えた協力体制を確立することを目指します。

これらを実現するために、参加団体と支援チーム・支援病院が、ITによる情報提供やセミナーの実施、電話相談など、さまざまな支援を提供します。

< キャンペーンの達成目標 >

- 1 . 参加登録病院 **3000 病院**以上
- 2 . キャンペーン推進拠点 **30 ヲ所**以上
- 3 . 有害事象件数の低減 **30 万件**以上
- 4 . 入院死亡数の低減 **1 万人**以上

【病院の行動目標】 8つの行動目標があります

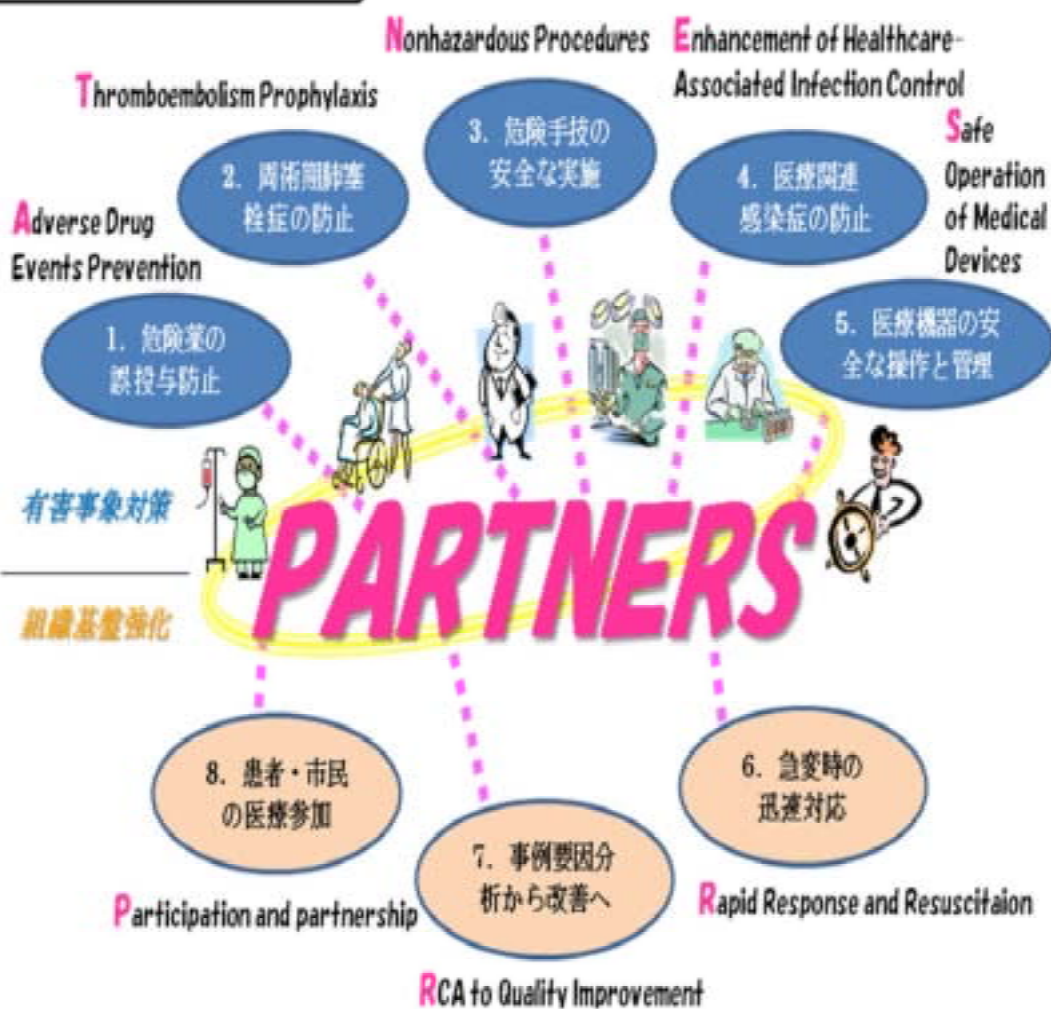
有害事象に関する行動目標

- 1 . 危険薬の誤投与防止
- 2 . 周術期肺塞栓症の防止
- 3 . 危険手技の安全な実施
 - a . 経鼻栄養チューブ挿入手技の安全な実施
 - b . 中心静脈カテーテル挿入手技の安全な実施
- 4 . 医療関連感染症の防止（MRSA感染を中心に）
- 5 . 医療機器の安全な操作と管理
 - a . 輸液ポンプの安全管理
 - b . 人工呼吸器の安全管理

医療安全の組織基盤強化に関する行動目標

- 6 . 急変時の迅速対応
- 7 . 事例要因分析から改善へ
- 8 . 患者・市民の医療参加

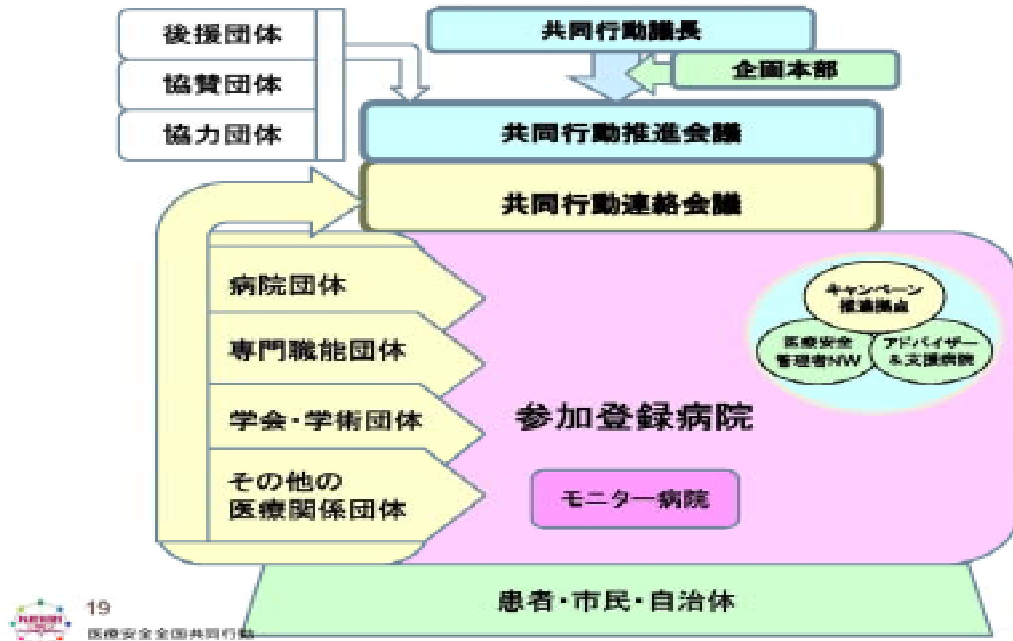
8つの行動目標



医療安全全国共同行動

出典；医療安全全国共同行動ホームページ

共同行動の推進体制

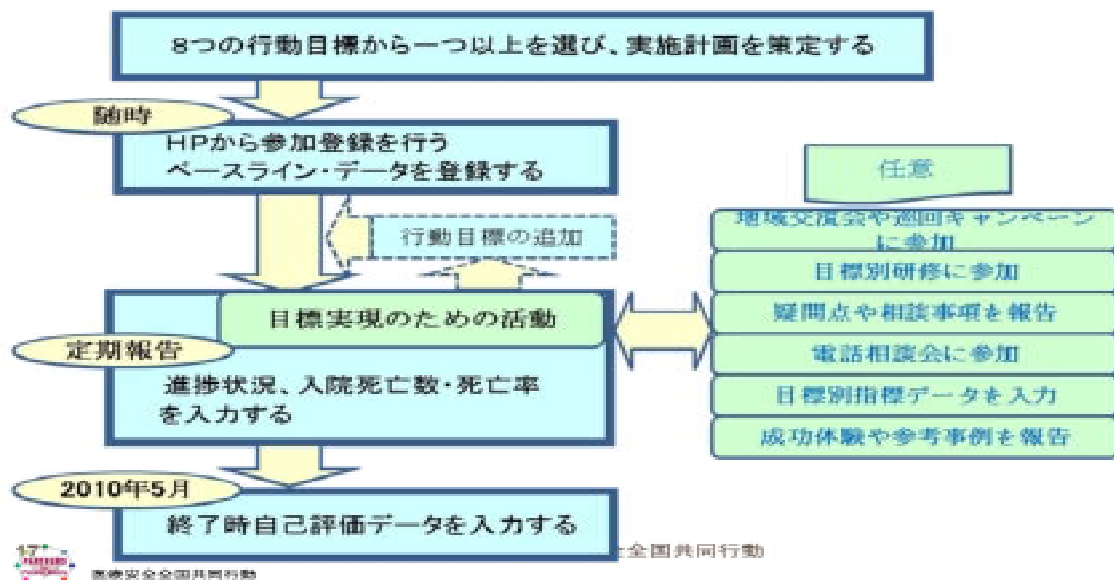


出典；医療安全全国共同行動ホームページ

参加登録病院の登録方法と報告事項

参加病院は、キャンペーン期間中に取り組む目標を8つの行動目標の中から1つ以上選んでHPから登録し、取り組みの経過を報告していきます。
 (詳細はホームページ (<http://kyodokodo.jp>) をご覧下さい。)

参加登録病院の登録方法と報告事項



出典；医療安全全国共同行動ホームページ

神奈川県看護協会の取り組み

神奈川県看護協会では、医療安全対策事業だけでなく、これまでの協会事業の中で医療安全全国共同行動と連動できることを整理し、取り組んでおります。

このキャンペーンで取り組む 8 項目について、具体的に取り組む委員会や検討内容などについてご紹介します。

会員の皆様からの新たなアイデアも取り入れていきたいと思っておりますので、皆様のご意見等がございましたら、医療安全対策課までご連絡ください。

どうぞよろしくお願いいたします！

1. 医療安全対策事業の拡充

1) 医療・看護安全対策委員会、ワーキンググループプロジェクト

当協会では、医療・看護安全対策検討委員会、領域別のワーキンググループプロジェクトを設置し、活動しています。

「医療安全全国共同運動の水平展開の検討」、及び「各WGの検討事項で具体化」を主な検討課題として具体的な取り組み方法を検討しております。

2) 業務委員会・社会経済福祉検討委員会との連携

業務委員会と連携し、「安全な業務手順に関する見直しや情報発信」を検討しています。今年度は「経管栄養チューブの管理」をテーマに取り組んでいます。

また、社会経済福祉検討委員会と連携し、苦情や暴力に関する「事例分析（定性分析）に基づいた情報発信」を検討しています。

3) 教育研修での啓発

医療安全に関する研修などで、医療安全全国共同行動について紹介していきます。また、医療安全全国共同行動の 8 つの行動目標達成のために役立つ研修を企画計画しています。

4) 医療安全推進ネットワーク交流会との連携

県内の医療安全担当で構成する医療安全推進ネットワーク交流会で情報交換を推進しています。

5) 看護だより

当協会機関紙「看護だより」の連載「患者安全への道」で、解説や取り組みを掲載しています。

2. 新規事業としての取り組み

1) 市民参加型医療安全推進プロジェクト発足

今年度から、患者会、子育て支援グループ、言語学者、小学校養護教諭、看護職で構成されたプロジェクトを発足しました。

「患者・市民に医療参加」をテーマに、市民活動、子育て広場、教育現場、病院などで展開できることについて検討しています。

2) キャンペーン期間の継続的な事業計画の策定

2年間のキャンペーンで効果的に事業展開出来ることを目指しています。

3. 関連機関との連携

1) 神奈川県医療事故防止事業実行委員会

神奈川県、神奈川県医師会・病院協会・薬剤師会・歯科医師会と「医療安全推進セミナー」の共同開催いたします。その中で、このキャンペーンをご紹介します。

2) 地域活動及び会員活動との連携・支援

次のページでご紹介します「医療安全に関する地域医療・福祉関係者との交流会」との連携を継続していきます。

3) 医療の質・安全学会

賛助会員として学会の取り組みや最新の情報を発信していきます。

このキャンペーンは始まったばかりで試行錯誤ですが、神奈川県全体で取り組み、共に推進していきませんか？

< パートナースキャンペーンと神奈川県看護協会の取り組み概要 >

パートナーズキャンペーン 8つの行動目標 (p 2 参照)	神奈川県看護協会 の取り組み	活動計画内容
1 . 危険薬の誤投与防止	<ul style="list-style-type: none"> * 医療・看護安全対策委員会 * 医療安全情報検討ワーキンググループ * 教育研修 	<ul style="list-style-type: none"> * 「患者安全警報」年4回作成・配布 * 新人・再就職者向けで研修実施 内容(安全な薬物療法・療養生活対策)
2 . 周術期肺塞栓症の防止	<ul style="list-style-type: none"> * 医療安全推進ネットワーク推進事業 * 教育研修 	<ul style="list-style-type: none"> * 交流会(月一回)開催及び情報交換 (メーリングリストの活用) * 研修内容(手術看護をささえるエビデンス)
3 . 危険手技の安全な実施 a. 経鼻栄養チューブ挿入手技の 安全な実施 b. 中心静脈カテーテル挿入手技の 安全な実施	<ul style="list-style-type: none"> * 医療・看護安全対策委員会 * 医療安全情報検討ワーキンググループ * 業務委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 経鼻栄養チューブ管理に関する安全指針の検討及び情報発信
4 . 医療関連感染症の防止	<ul style="list-style-type: none"> * 医療・看護安全対策委員会 * 医療安全推進ネットワーク推進事業 * 教育研修 	<ul style="list-style-type: none"> * 交流会(月一回)開催及び情報交換 (メーリングリストの活用) * 研修内容(最新の感染管理と看護の役割/看護における感染予防の基礎/組織で取り組む感染管理)
5 . 医療機器の安全な操作と管理 a . 輸液ポンプの安全管理 b . 人工呼吸器の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> * 医療・看護安全対策委員会 * 医療安全情報検討ワーキンググループ * 教育研修 	<ul style="list-style-type: none"> * 研修内容(重症患者のフィジカルアセスメント~呼吸管理・循環管理~)
6 . 急変時の迅速対応	<ul style="list-style-type: none"> * 医療・看護安全対策委員会 * 医療事故対応訓練検討ワーキング * 医療安全推進ネットワーク推進事業 * 教育研修 	<ul style="list-style-type: none"> * 医療事故対応訓練のDVD作成の検討 * 医療事故対応訓練のパンフレット作成・配布 * 交流会(月一回)開催及び情報交換 (メーリングリストの活用)
7 . 事例要因分析から改善へ	<ul style="list-style-type: none"> * 医療・看護安全対策委員会 * 苦情・暴力対応検討ワーキンググループ * 社会経済福祉検討委員会 * 教育研修 * 医療安全推進ネットワーク推進事業 * 講演会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> * インシデント・アクシデント事例分析の手引き作成・配布 * 苦情・暴力事例の定性分析及びその結果の情報発信、提言 * 研修内容(医療安全に関する研修)
8 . 患者・市民の医療参加	<ul style="list-style-type: none"> * 医療・看護安全対策委員会 * 市民参加型医療安全推進プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> * 言語学、患者会、教育関係などの人材を委員に迎え、取り組み事項と課題の検討 * 市民イベント(赤ちゃん広場、看護フェスティバル等)時の講話

<< 県内の取り組みのご紹介 >>

第一回 『医療安全に関する地域連携交流会』を開催して

鶴巻温泉病院・安全管理対策室長：竹中 ツネ

先日、5月17日(土)都内の経団連会館にて、医療の質学会・安全学会理事長の高久史磨氏が議長を務め、“医療安全全国共同行動キック・フォーラム”が開催されました。職種や壁を越え、病院と医療を支える様々な団体・学会・行政・地域社会が一致協力して、医療事故の防止に総力を挙げて取り組み、「死亡事故及び有害事象」の軽減を目指すというものでありました。

早速、神奈川県・西部地区の近隣の医療関係機関等に、“医療安全に関する地域連携交流会”を呼びかけ、去る7月5日(土) 第一回目の“交流会”が開催されました。近隣の医療機関・福祉関係職種等の13施設から32名の参加がありました。

当日は堀 喜久子氏(神奈川県看護協会常務理事)、安井はるみ氏(同県看護協会医療安全対策課)、村上紀美子氏(医療ジャーナリスト)より、“医療安全全国共同行動キック・フォーラム”が開催された経緯や目的などメッセージやアドバイスをいただきました。

参加者からの自己紹介や活動状況、さらに鶴巻温泉病院の安全管理の取り組みや病院見学を実施しました。その後、グループワークでは、堀常務理事に支援をいただきながら、日頃の「安全管理」活動での悩み・想いなど率直に語り互いの労をねぎらい合い、改善策等の情報交換を行いました。その出会いから、「落ち込んでいたが頑張っってやっていこうと感じた」「自分の職場で何を行うべきか見えてきた」「施設や職種の壁を越えた方々との情報交換に勇気もらった」「課題が明らかになった」等という声が聞かれました。

次回の交流会の「お世話係を…」と多くの方々が手を上げてくださり、力強い仲間ができました。次回の「開催日時」や交流会の「ネーミング」は、その方々と検討・企画を致したいと思います。次回の交流会は、さらに充実した交流会となることを願っております。職種・施設・行政などの多くの方々の参加をお待ちしております。



< ご連絡・意見等の連絡先 >

電話番号:0463 - 69 - 1014 FAX 番号:0463 - 69 - 3115